

日興AMオフショア・ファンズ^(注) TRP米国コア・グロース株ファンド

米ドルクラス／円ヘッジクラス

ケイマン諸島籍 オープン・エンド契約型 公募外国投資信託

(注)日興AMオフショア・ファンズ(以下「トラスト」といいます。))は、2025年9月1日付で名称をアモーヴァ オフショア・ファンズに変更する予定です。以下同じです。

交付運用報告書

作成対象期間 第7期

(2024年1月1日～2024年12月31日)

第7期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産総額
米ドルクラス	21.82米ドル	163,648,833.00米ドル
円ヘッジクラス	17,449円	1,091,449,326円
第7期		
	騰落率	1口当たり 分配金額
米ドルクラス	34.69%	0米ドル
円ヘッジクラス	27.43%	0円

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2)1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。なお、ファンドは2024年12月末まで分配の実績はありません。

書面での運用報告書(全体版)は受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、日興AMオフショア・ファンズ TRP米国コア・グロース株ファンド(以下「ファンド」といいます。))は、このたび、第7期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、米国の大・中規模の「優良」企業の株式の分散型ポートフォリオを主な投資対象とするファンドに投資することにより長期的に持分の価値の上昇を実現することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/products/trust/index.html>「外国投資信託運用報告書」)にて電磁的方法により提供しております。

管理会社

日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド^(注)

(注)日興AMグローバル・ケイマン・リミテッドは、2025年9月1日付で商号をアモーヴァAM・グローバルケイマンリミテッドに変更する予定です。以下同じです。

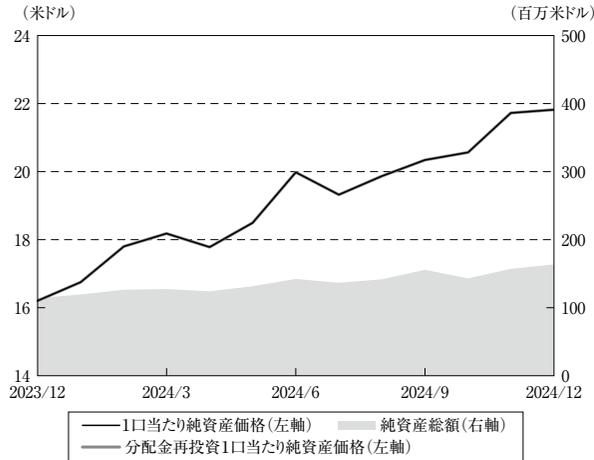
代行協会

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

運用経過

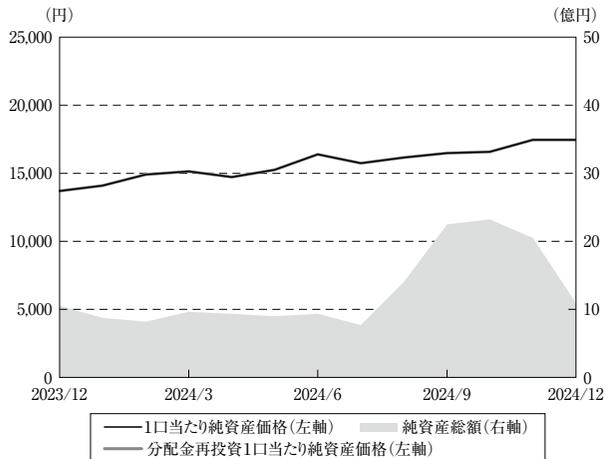
当期の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



第6期末の1口当たり純資産価格	16.20米ドル
第7期末の1口当たり純資産価格	21.82米ドル (分配金額:0米ドル)
騰落率	34.69%

円ヘッジクラス



第6期末の1口当たり純資産価格	13,693円
第7期末の1口当たり純資産価格	17,449円 (分配金額:0円)
騰落率	27.43%

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第6期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

○1口当たり純資産価格の主な変動要因

(値上がり要因)

・堅調な米国経済や企業業績、人工知能(AI)関連需要への期待、米大統領選でのトランプ氏の勝利と次期政権への政策期待などを背景に米国株式市場が堅調に推移したことが1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。

(値下がり要因)

・米国経済の先行き警戒感などを背景に米国株式市場が下落した局面では、ファンドの1口当たり純資産価格も下落しました。

費用の明細

項目	年率 / 金額	項目の概要
管理会社報酬	0.03%	運用財産の管理および運用などの対価
投資顧問報酬	0.22~0.25%	運用およびそれらに付随する投資顧問業務などの対価
副管理事務代行報酬/ 名義書換事務代行報酬	0.05~0.07% (ただし、年間最低報酬60,000米ドル)	受益証券の純資産価額の算出業務などの対価
代行協会員報酬	0.03%	目論見書や運用報告書等の販売会社への送付、受益証券1口当たり純資産価格の公表業務等の対価
販売報酬	0.65%	運用報告書等各種書類の送付、販売会社における受益者の取引口座内でのファンドの管理および事務手続、購入後の情報提供等の業務の対価
受託・管理事務代行報酬	0.015% (ただし、年間最低報酬15,000米ドル)	ファンドの受託業務、運営業務などの対価
その他の手数料等	0.08%	取引手数料、目論見書の作成・印刷費用、弁護士費用、監査費用、税金、ファンドの設立費用等

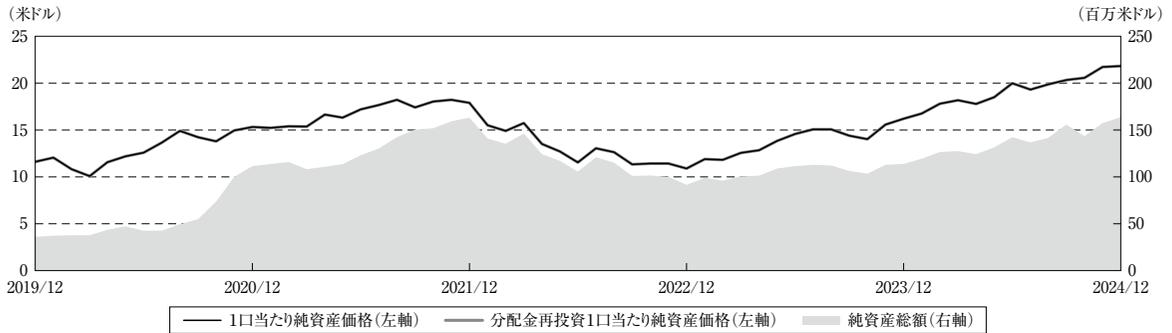
(注1)各報酬(その他の手数料等を除く。)については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。

(注2)保管会社および副管理事務代行会社は、運用財産の保管業務などの対価として通常の保管報酬および取引手数料を受領する権利も有します。

(注3)「その他の手数料等」については、運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれています。便宜上、当期のその他の手数料等の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率で表示していますが、実際の比率とは異なります。

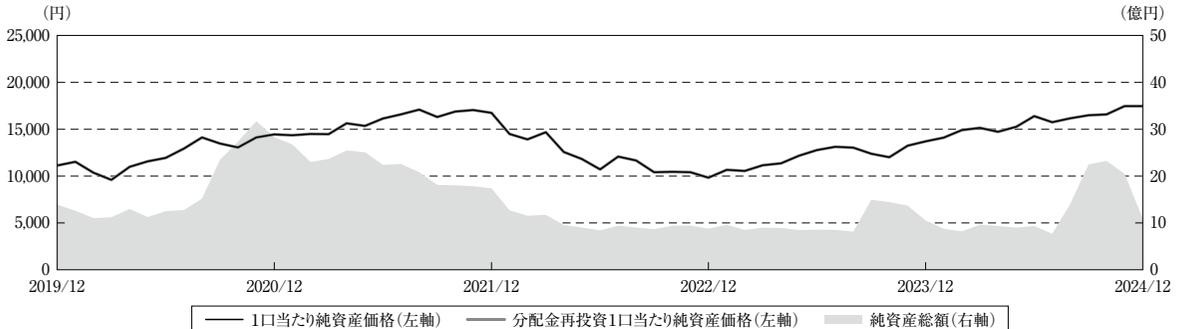
最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



	第2期末 (2019年12月31日)	第3期末 (2020年12月31日)	第4期末 (2021年12月31日)	第5期末 (2022年12月31日)	第6期末 (2023年12月31日)	第7期末 (2024年12月31日)
1口当たり純資産価格(米ドル)	11.61	15.31	17.89	10.88	16.20	21.82
1口当たり分配金額(米ドル)	—	0	0	0	0	0
騰落率(%)	—	31.87	16.85	-39.18	48.90	34.69
純資産総額(米ドル)	36,019,078.00	111,427,243.00	163,175,060.00	91,585,112.00	113,858,626.00	163,648,833.00

円ヘッジクラス



	第2期末 (2019年12月31日)	第3期末 (2020年12月31日)	第4期末 (2021年12月31日)	第5期末 (2022年12月31日)	第6期末 (2023年12月31日)	第7期末 (2024年12月31日)
1口当たり純資産価格(円)	11,126	14,429	16,726	9,814	13,693	17,449
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0	0	0
騰落率(%)	—	29.69	15.92	-41.32	39.53	27.43
純資産総額(円)	1,390,992,944	2,825,977,115	1,738,994,808	881,245,877	1,049,831,255	1,091,449,326

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第2期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

投資環境およびポートフォリオについて

ファンドは、主として、USブルーチップ・エクイティ・ファンド(以下「投資先ファンド」といいます。)の受益証券に投資します。以下の「投資環境」および「ポートフォリオ」は、投資先ファンドについてのご報告です。

○投資環境 (市場環境)

2024年の米国株式市場は、S&P500指数を参照するに上昇しました。2024年前半は、①利下げ期待の高まり、②総じて堅調な米国経済や企業業績、③人工知能(AI)関連需要に対する投資家の期待などから米国株式市場は上昇しました。夏場にかけては、米国経済の先行きに対する警戒感などから調整する局面もありましたが、その後は(a)米連邦公開市場委員会(FOMC)での大幅な利下げ決定、(b)米大統領選でのトランプ氏の勝利と次期政権への政策期待の高まりなどが株価を押し上げ、上昇基調が続きました。ただし、12月のFOMCで2025年の利下げペースの鈍化が示唆されたことやトランプ次期政権の政策によるインフレ再燃を織り込んだ長期金利の上昇などから米国株式市場はやや値を崩して年末を迎えました。スタイル別指数では、グロース株指数がより大きく上昇するグロース株優位の展開となりました。

(今後の市場見通し)

米新政権による規制緩和や減税の実行により企業の投資意欲の高まりが期待される一方、景気の加速や輸入関税を通じたインフレ再燃などのリスクも残存する2025年ですが、いかなる環境変化があろうとも、AIなどの技術革新が個別企業の成長の源泉であり続ける状況に変化はないと考えています。こうした中、引き続き個別企業のファンダメンタルズに基づき、高い競争力と長期的な収益成長の維持が可能とみられる企業、経験豊富な経営陣と強固な財務基盤を有すると判断される質の高い企業への魅力的な投資機会を見極めて行く方針です。

○ポートフォリオ

セクター別では、一般消費財・サービス、情報技術、コミュニケーション・サービスといった大型テクノロジー銘柄の所属セクターのオーバーウェイトや銘柄選択、ヘルスケアにおける銘柄選択などがプラスに寄与しました。一般消費財・サービスセクターではカーバナ、アマゾン・ドット・コム、情報技術セクターではエヌビディア、コミュニケーション・サービスではメタ・プラットフォームズなどの組み入れが、いずれもプラスに大きく寄与しました。また、ヘルスケアセクターでは、インテュイティブサージカルを組み入れなどがプラスに寄与しました。一方で、金融セクターのアンダーウェイトや銘柄選択などがマイナスに寄与しました。

分配金について

当期は分配を行いませんでした。

今後の運用方針(2024年12月末時点)

○ファンド

ファンドは、引き続き、ルクセンブルグ籍米ドル建「USブルーチップ・エクイティ・ファンド(クラスI)」を主な投資対象とします。

○投資先ファンド

投資先ファンドは、米国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている大型および中型の株式を主要な投資対象とします。投資先ファンドでは、個別企業分析により、成長分野におけるリーダーシップが期待できる企業、将来に向けて継続的な成長が期待できる優良企業、財務面を含めた強固な事業基盤を有する企業に投資を行います。個別企業分析にあたっては、企業調査結果を活かし、「ボトムアップ・アプローチ」を重視します。ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。株式の実質的な組入比率は、原則として高位を維持します。

お知らせ

2025年9月1日付でトラストおよび管理会社の名称が変更されることに伴い、2025年6月26日付で変更証書を締結しました。

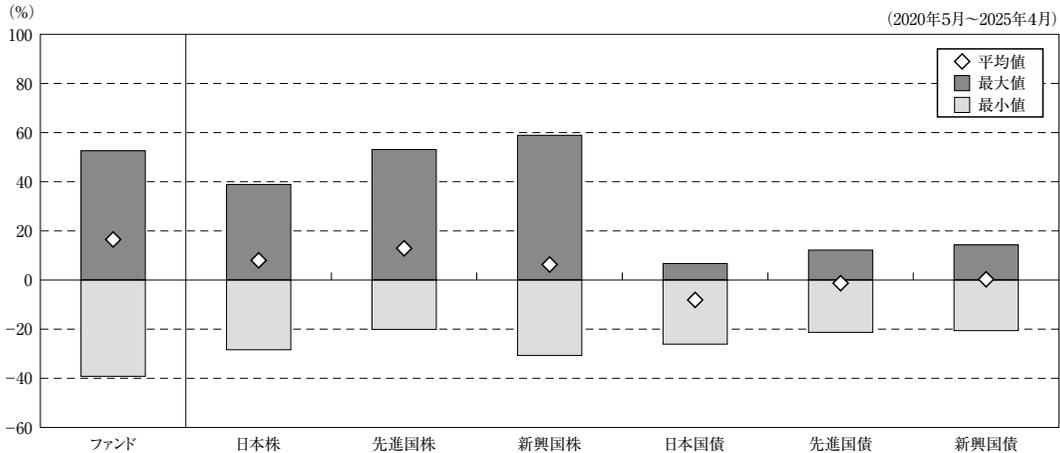
ファンドの概要

ファンド形態	ケイマン諸島籍 オープン・エンド契約型 公募外国投資信託
信託期間	日興AMオフショア・ファンズのマスター信託証書の締結日(2012年10月15日)から150年間
運用方針	ファンドの投資目的は、米国の大・中規模の「優良」企業の株式の分散型ポートフォリオを主な投資対象とするファンドに投資することにより長期的に持分の価値の上昇を実現することです。
主要投資対象	USブルーチップ・エクイティ・ファンド(クラスI)
ファンドの運用方法	通常の場合において、ファンドは、主として、投資先ファンドであるUSブルーチップ・エクイティ・ファンドの受益証券に投資します。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則として毎年5月15日(当該日がファンド営業日^{*1}でない場合には、翌ファンド営業日)に行います。 ● 分配は、各クラスの分配日の前ファンド営業日に宣言されます^{**2}。 ● 分配金は、関連する各クラスの分配日(同日を含みます。なお、同日は分配落ち日に当たります。)から5ファンド営業日後に海外で支払われます。 <p>※1 ファンド営業日とは、日本、ルクセンブルグおよびニューヨークの銀行および証券取引所が営業を行う日(土曜日、日曜日もしくは12月24日を除きます。)またはファンドに関して管理会社が受託会社との協議の上で随時に決定することのできるその他の日をいいます。</p> <p>※2 当該日がファンド営業日でない場合には、かかる分配は、前ファンド営業日に宣言されるものとします。</p>

(参考情報)

○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

米ドルクラス



(ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%))

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	16.5%	8.0%	12.9%	6.3%	-8.1%	-1.3%	0.3%
最大値	52.6%	38.9%	53.1%	58.9%	6.7%	12.2%	14.3%
最小値	-39.2%	-28.4%	-20.1%	-30.7%	-26.1%	-21.3%	-20.6%

※上記はファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものであり、実際の純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX(東証株価指数)配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)

日本国債：NOMURA-BPI国債

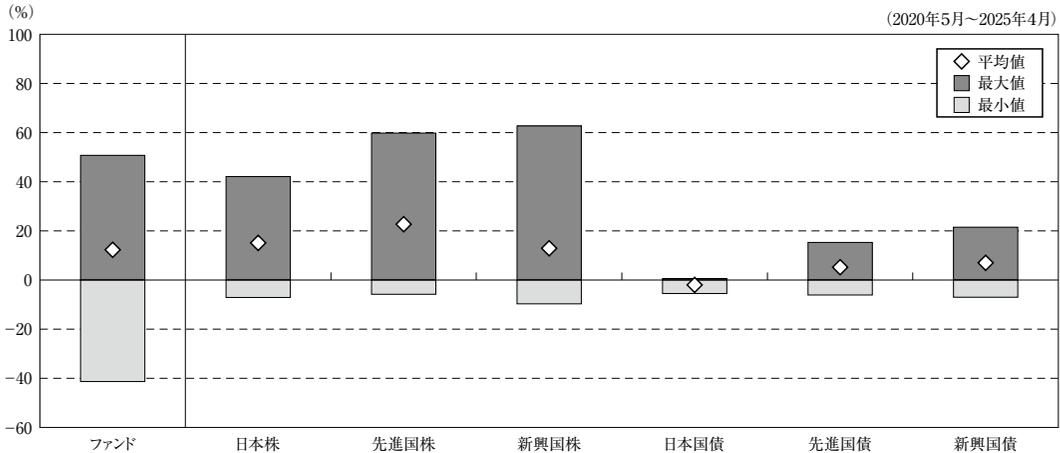
先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・デイバーシファイド

※各指数は、米ドル換算しております。

※上記各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

円ヘッジクラス



(ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%))

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.3%	15.1%	22.7%	12.9%	-2.0%	5.2%	7.0%
最大値	50.7%	42.1%	59.8%	62.7%	0.6%	15.3%	21.5%
最小値	-41.3%	-7.1%	-5.8%	-9.7%	-5.5%	-6.1%	-7.0%

※上記はファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものであり、実際の純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX(東証株価指数)配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・デイベーシファイド

※各指数は、円換算しております。

※上記各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容(第7期末現在)

○組入資産

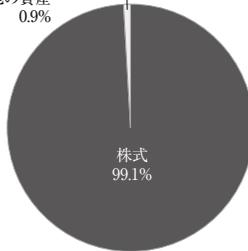
(組入銘柄数: 1銘柄)

	組入比率
USブルーチップ・エケイティ・ファンド(クラスI)	99.1%

(注) 組入比率は純資産総額に対する当該組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

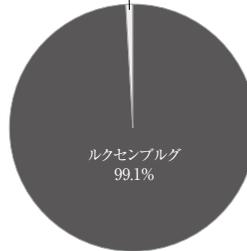
○資産別配分

現金、受取債権
およびその他の資産
0.9%



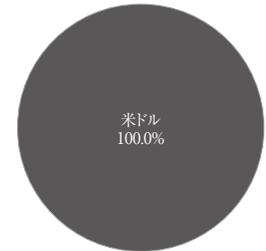
○国別配分

その他 0.9%



○通貨別配分

米ドル
100.0%



(注1) 通貨別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 端数を四捨五入しているため、合計が100パーセントにならない場合があります。

純資産等

項目	第7期末	
純資産総額	米ドルクラス 円ヘッジクラス	163,648,833.00米ドル 1,091,449,326円
発行済口数	米ドルクラス 円ヘッジクラス	7,501,512口 62,551口
1口当たり純資産価格	米ドルクラス 円ヘッジクラス	21.82米ドル 17,449円

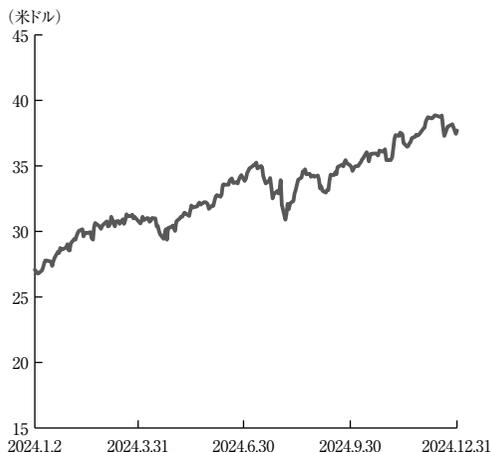
	第7期中		
	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドルクラス	2,548,580口 (2,548,580口)	2,076,885口 (2,076,885口)	7,501,512口 (7,501,512口)
円ヘッジクラス	105,785口 (105,785口)	119,903口 (119,903口)	62,551口 (62,551口)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

投資先ファンドの概要

USブルーチップ・エクイティ・ファンド(クラスI)

○1口当たり純資産価格の推移



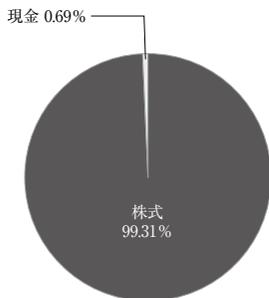
○保有銘柄情報

(組入銘柄数:77銘柄)

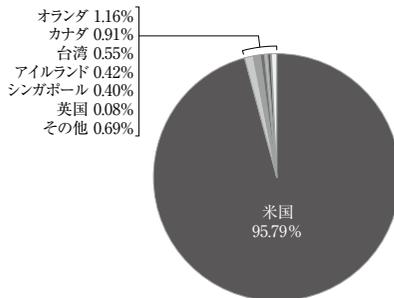
上位保有10銘柄	対純資産総額比率
Apple	9.7%
Amazon.com	9.6%
Microsoft	9.6%
NVIDIA	9.6%
Meta Platforms	4.7%
Alphabet Class C	4.6%
Tesla	3.9%
Eli Lilly	3.6%
Visa	3.4%
MasterCard	2.8%

(2024年12月31日現在)

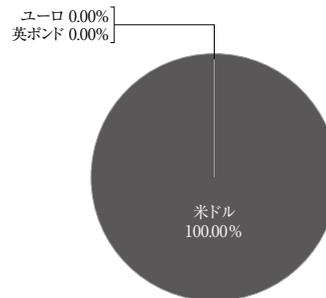
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



※ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社より提供された情報です。

※端数を四捨五入しているため、合計が100パーセントにならない場合があります。

(2024年12月31日現在)

